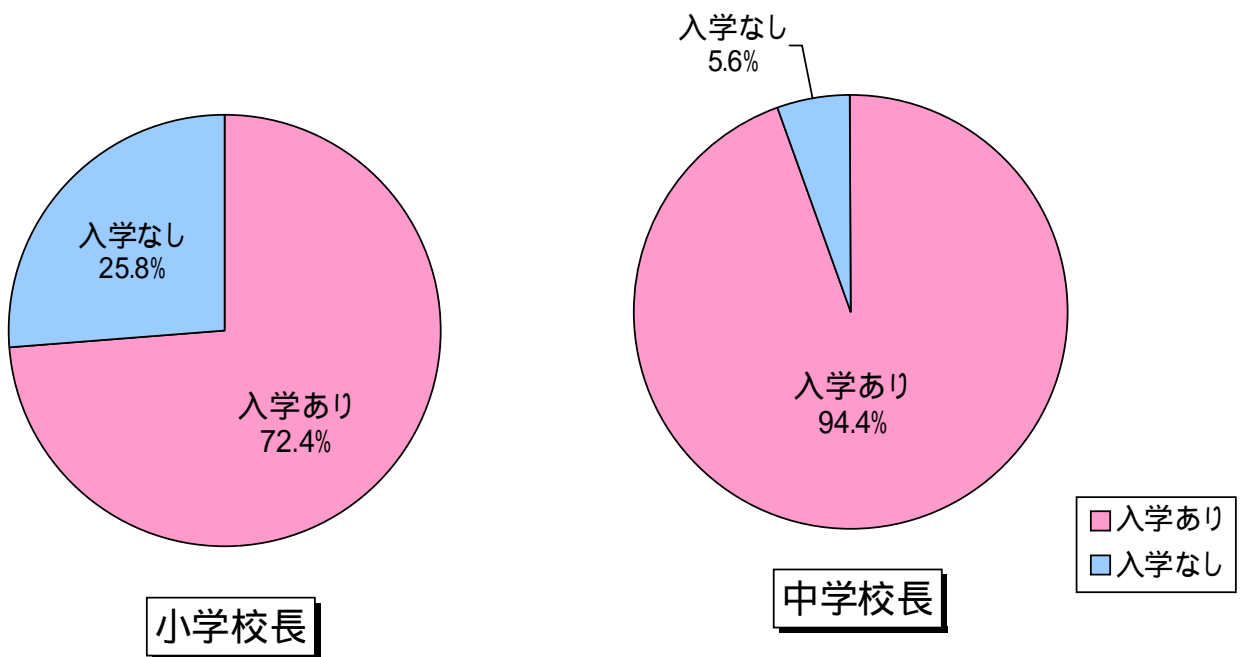


## 学校選択制度での入学者の有無について

問1(1) この制度を利用して自校へ入学がありましたか。

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
ア 入学あり	23	74.2	17	94.4
イ 入学なし	8	25.8	1	5.6
合計	31	100.0	18	100.0



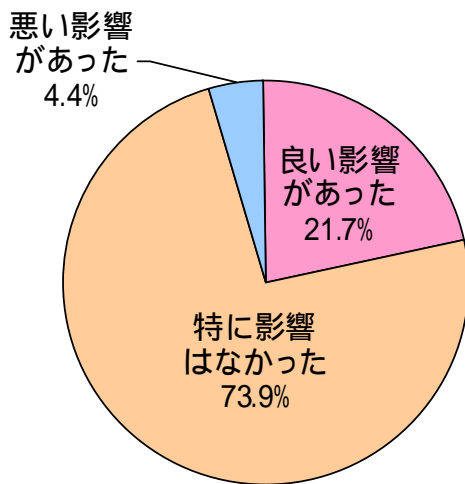
## 学校経営への影響について

問1(2)ア「入学あり」と答えた方にお尋ねします。

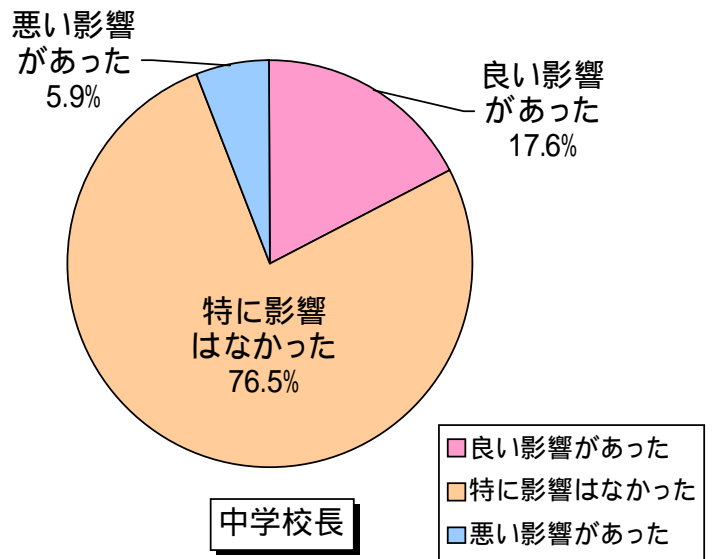
### 1 学校経営について

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 良い影響があった	5	21.7	3	17.6
2 特に影響はなかった	17	73.9	13	76.5
3 悪い影響があった	1	4.4	1	5.9
合計	23	100.0	17	100.0



小学校長



中学校長

■ 良い影響があった  
■ 特に影響はなかった  
■ 悪い影響があった

「良い影響」は、小学校では 21.7%、中学校では 17.6%、「悪い影響」は、小学校では 4.4%、中学校では 5.9%となっている。

### 記述内容

#### 小学校

良い影響について(5人)

- ・児童数の確保 育友会(P T A)活動への積極的参加
- ・児童数が一定水準で保たれ、適正規模が保たれている。
- ・学級編成で学級数増になる
- ・人数の関係で複式学級にならずにすんでいる学級もある。
- ・保護者が大変協力的で、P T Aの役を積極的に引き受けてもらった。

悪い影響について(1人)

- ・スクールバス乗車対象にならないので、市バス利用(保護者負担)度々保護者が車で送って来られる、諸行事への参加も意欲的でない場合が多い。

#### 中学校

良い影響について(3人)

- ・一定の人数が確保でき、活性化が図られている。
- ・強い目的意識を持ってくる子どもの受け入れであり、数名の子どもや保護者からではあるが、選択された学校となる。
- ・部活動、行事において保護者の協力が得られた。

悪い影響について(1人)

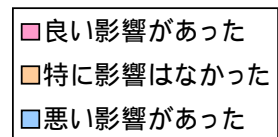
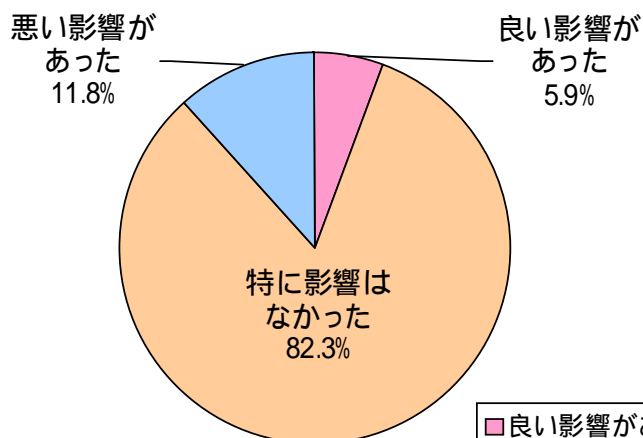
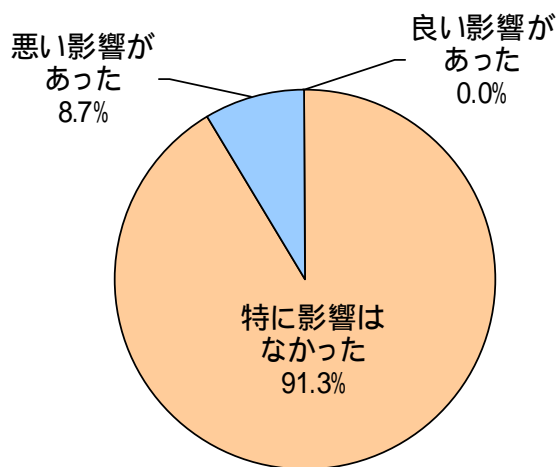
- ・一部ではあるが、学校経営に支障をきたしている。

# 生徒指導への影響について

## 2 生徒指導について

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 良い影響があった	0	0.0	1	5.9
2 特に影響はなかった	21	91.3	14	82.3
3 悪い影響があった	2	8.7	2	11.8
合計	23	100.0	17	100.0



「良い影響」は、中学校では 5.9%、「悪い影響」は、小学校では 8.7%、中学校では 11.8%となっている。

### 記述内容

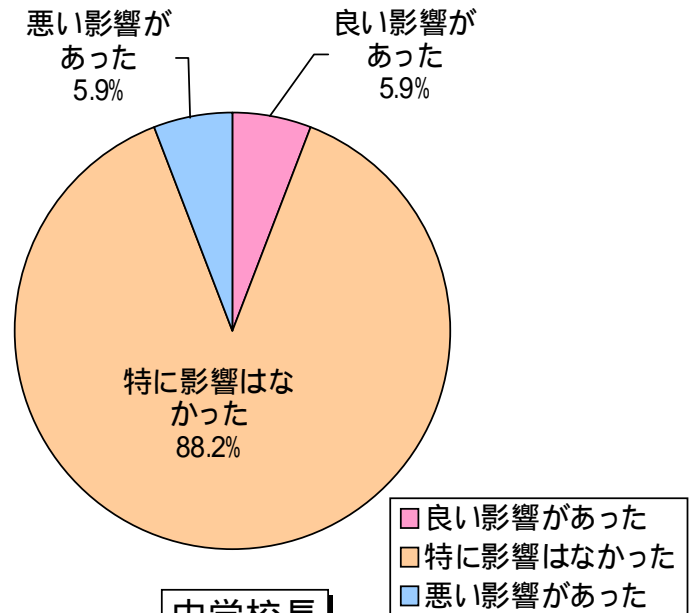
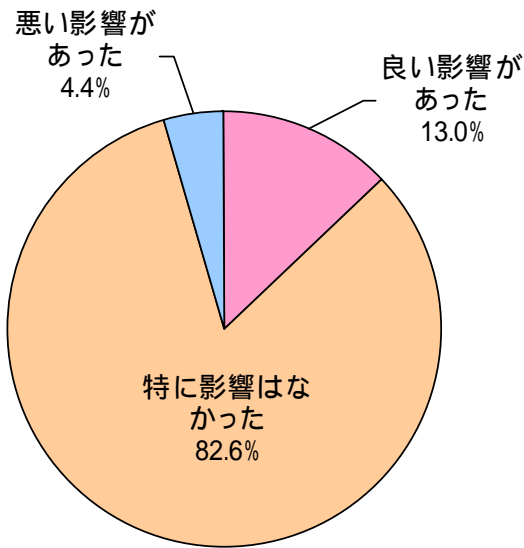
小学校	中学校
<p>良い影響について(0人)</p> <p>悪い影響について(2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何の問題があっても家庭訪問に何う時間的な問題が担任に負担をかけている。</li> <li>・自力で登下校できないため、保護者の送迎になる。なかなか家庭とも連絡がつかないことも多く、生徒指導面でも支障があった。</li> </ul>	<p>良い影響について(1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な生徒指導の場(体育大会、文化祭等の学校行事)の活性化が図られた。</li> </ul> <p>悪い影響について(2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が自家用車で登校を送ってくるが増えた。自転車通学を徹底させたい。</li> <li>・本人が強く望まないで、保護者の強い希望で通学している生徒に不登校傾向が生じている。</li> <li>・一部ではあるが、生徒指導方針に基づく指導に支障をきたした。</li> </ul>

# 学習への影響について

## 3 学習について

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 良い影響があった	3	13.0	1	5.9
2 特に影響はなかった	19	82.6	15	88.2
3 悪い影響があった	1	4.4	1	5.9
合計	23	100.0	17	100.0



「良い影響」は、小学校では 13.0%、中学校では 5.9%、「悪い影響」は、小学校では 4.4%、中学校では 5.9%となっている。

### 記述内容

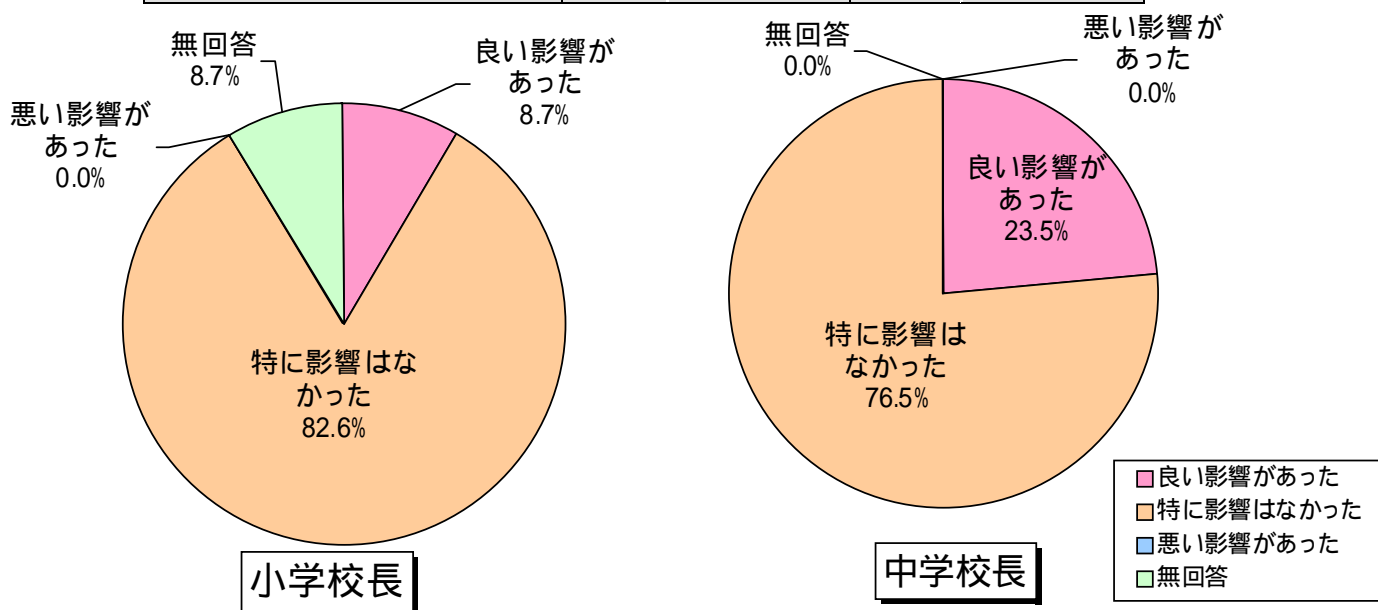
小学校	中学校
<p>良い影響について(3人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の中に切磋琢磨する雰囲気醸成されている。</li> <li>・4名が5名となり、少しでも多様な考えが出ている。</li> <li>・少人数学級なので落ち着いて学習できている。ほかの児童ともよくなじんで生活している。</li> </ul> <p>悪い影響について(1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習が定着しにくい(学習面でも保護者の協力が得られないことが多かった)学力補充で残すことができない。</li> </ul>	<p>良い影響について(1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体の学習意欲が高まった。</li> </ul> <p>悪い影響について(1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部ではあるが授業に支障をきたすことがある。</li> </ul>

# クラブ活動・部活動への影響について

## 4 クラブ活動・部活動について

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 良い影響があった	2	8.7	4	23.5
2 特に影響はなかった	19	82.6	13	76.5
3 悪い影響があった	0	0.0	0	0.0
4 無回答	2	8.7	0	0.0
合計	23	100.0	17	100.0



「良い影響」は、小学校では 8.7%、中学校では 23.5%、「悪い影響」は、小学校では 0%、中学校では 0%となっている。

### 記述内容

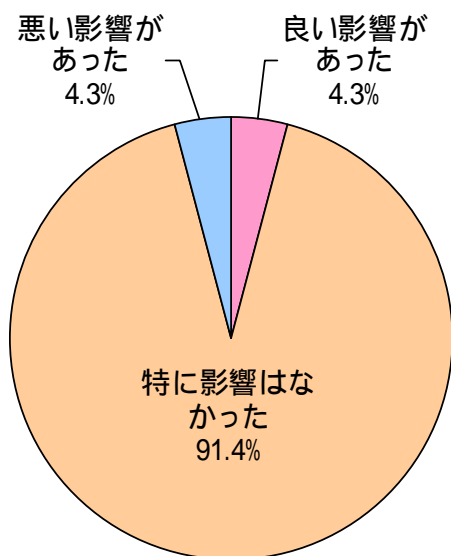
小学校	中学校
<p>良い影響について(2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数確保できたためクラブ活動に広がりが見られる。(クラブ数、構成人員数)</li> <li>・児童数が一定水準で保たれ、活動を継続していくのに必要な人数が確保できている。</li> </ul>	<p>良い影響について(4人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒増による適正規模が確保でき、活性化した。</li> <li>・部活動をリードしてくれている生徒がいる。また、その保護者も協力的である。</li> <li>・本人、保護者が学校選択を利用して入学した理由であるので、積極的に部活動に参加していた。大会でよい成績をおさめることができた。</li> <li>・部活動をする上で、相乗効果があった。</li> </ul>

# 地域の受入体制への影響について

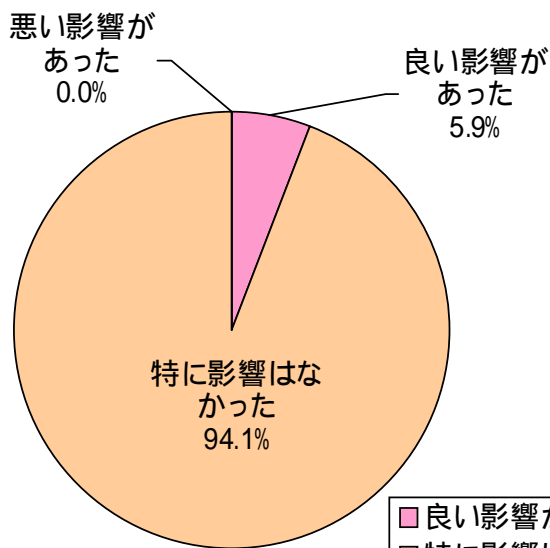
## 5 地域の受入体制について

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 良い影響があった	1	4.3	1	5.9
2 特に影響はなかった	21	91.4	16	94.1
3 悪い影響があった	1	4.3	0	0.0
合計	23	100.0	17	100.0



小学校長



中学校長

■ 良い影響があった  
■ 特に影響はなかった  
■ 悪い影響があった

「良い影響」は、小学校では 4.3%、中学校では 5.9%、「悪い影響」は、小学校では 4.3%、中学校では 0%となっている。

### 記述内容

#### 小学校

良い影響について(1人)

・地域全体で地区の子どもたちとして、見守ってくれている。ありがたいと感じている。

悪い影響について(1人)

・集団登校を毎日行い、地域子ども会(登校班単位)との連携が密なため、子ども(選択制度入学児)自身が疎外感を抱いていないか心配な面がある。

#### 中学校

良い影響について(1人)

・学校の活性化につながるものとして理解協力が強まった。

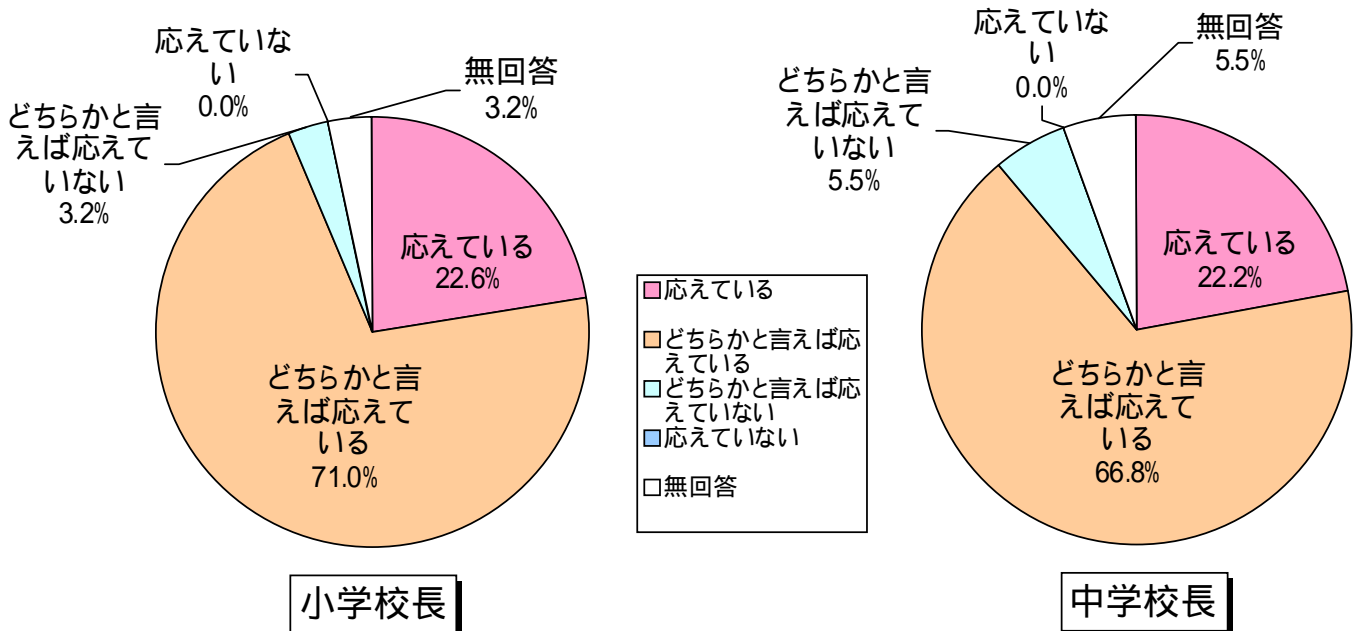
・地域からの支援体制はあった。

## 学校選択制度を利用した児童生徒、保護者のニーズへの対応について

### 問2 - 1 学校は制度を利用した児童生徒、保護者のニーズに応えている。

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 応えている	7	22.6	4	22.2
2 どちらかと言えは応えている	22	71.0	12	66.8
3 どちらかと言えは応えていない	1	3.2	1	5.5
4 応えていない	0	0.0	0	0.0
5 無回答	1	3.2	1	5.5
合計	31	100.0	18	100.0



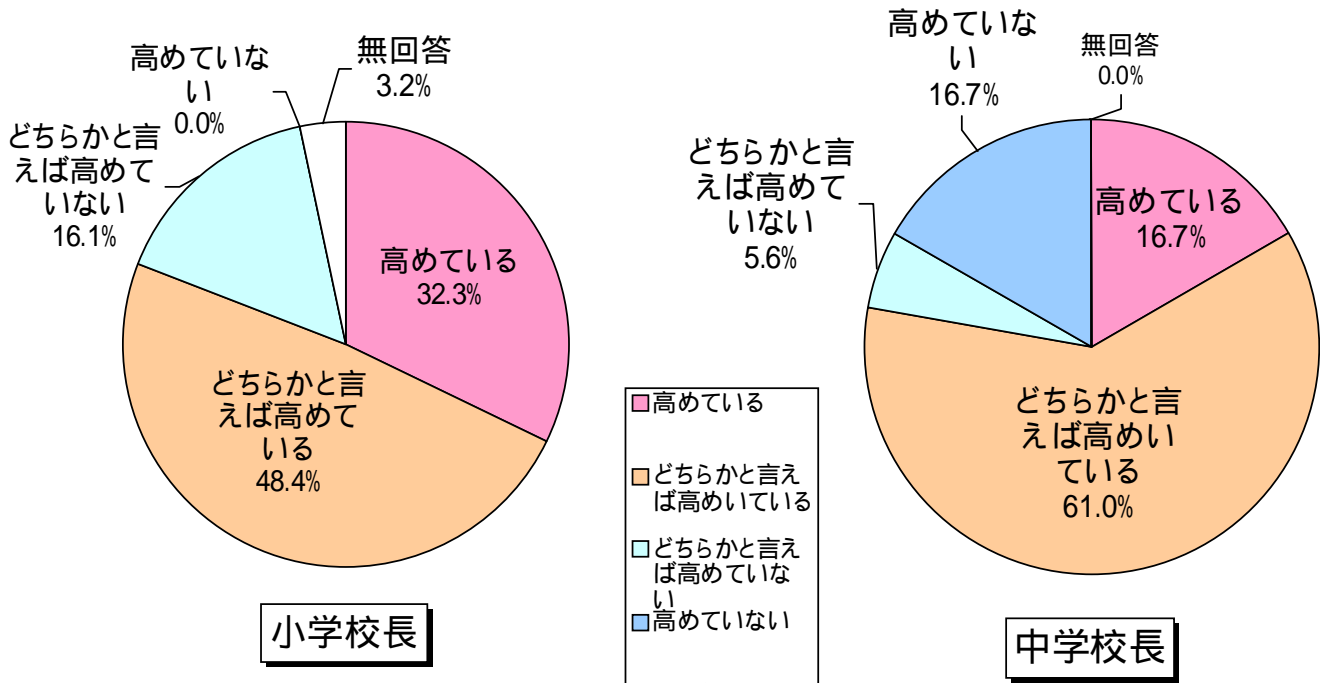
児童生徒、保護者のニーズに応えているかについて、小学校では「応えている」22.6%、「どちらかと言えは応えている」(71.0%)の93.6%、中学校では「応えている」(22.2%)、「どちらかと言えは応えている」(66.8%)の89.0%となっている。

学校選択制度を利用した保護者の学校への関心、協力意識について

問2 - 2 この制度を利用した保護者は、学校への関心、協力意識を高めている。

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 高めている	10	32.3	3	16.7
2 どちらかと言えは高めている	15	48.4	11	61.0
3 どちらかと言えは高めていない	5	16.1	1	5.6
4 高めていない	0	0.0	3	16.7
5 無回答	1	3.2	0	0.0
合計	31	100.0	18	100.0



保護者の学校への関心、協力意識を高めているかについては、小学校では「高めている」(32.3%)、「どちらかと言えは高めている」(48.4%)の80.7%、中学校では「高めている」(16.7%)、「どちらかと言えは高めている」(61.0%)の77.7%となっている。

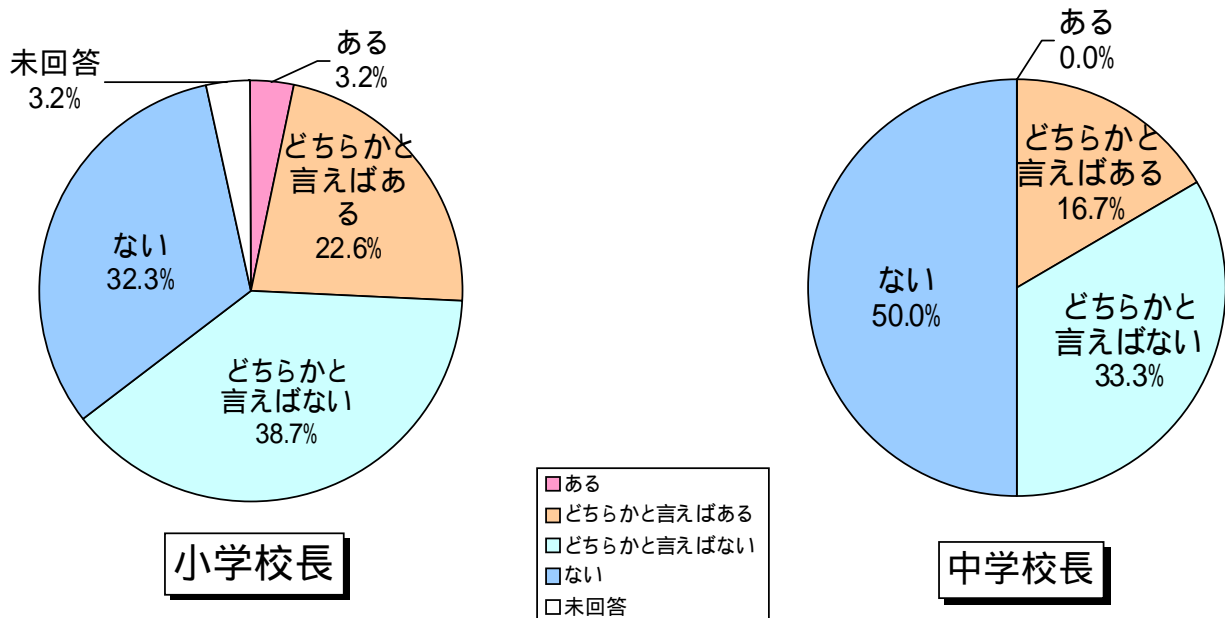


学校選択制度を利用した保護者とそれ以外の保護者の協力意識の相違について

問2 - 3 この制度を利用した保護者とそれ以外の保護者で協力意識に違いがある。

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 ある	1	3.2	0	0.0
2 どちらかと言えはある	7	22.6	3	16.7
3 どちらかと言えはない	12	38.7	6	33.3
4 ない	10	32.3	9	50.0
5 無回答	1	3.2	0	0.0
合計	31	100.0	18	100.0



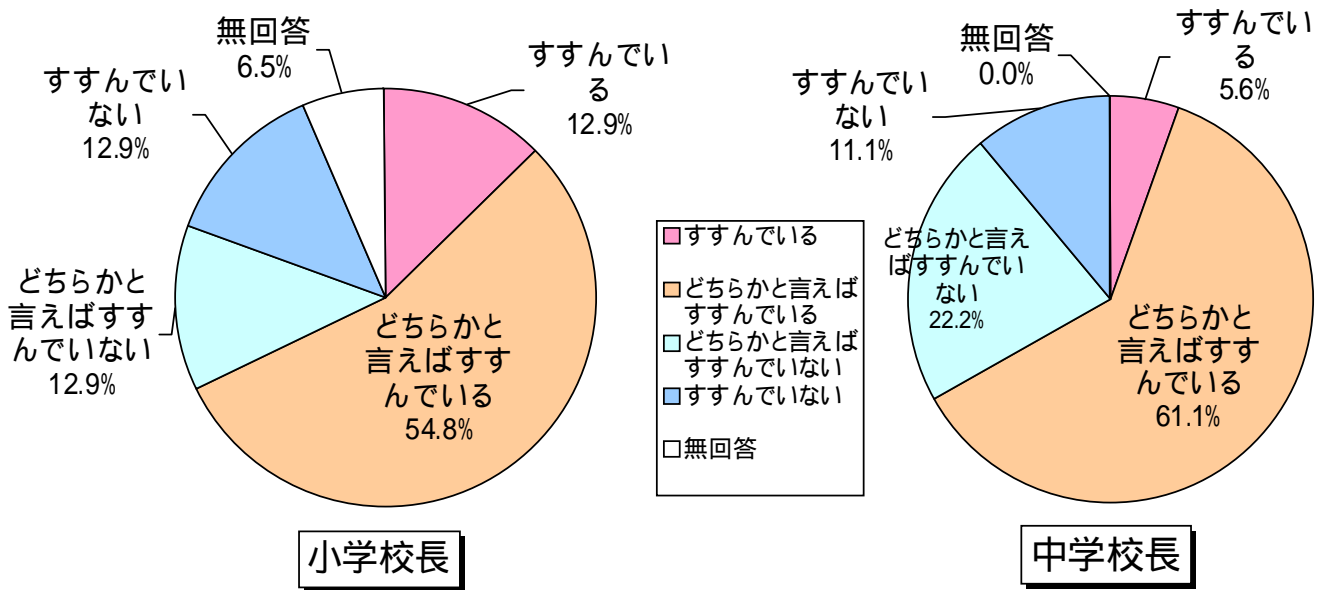
選択制度を利用した保護者とそれ以外の保護者で協力意識の違いがあるかについて、小学校では「ある」(3.2%)、「どちらかと言えはある」(22.6%)の25.8%、中学校では「ある」(0%)、「どちらかと言えはある」(16.7%)の16.7%となっている。

学校選択制度の導入による特色ある学校づくり、学校の活性化、開かれた学校づくりの進展状況について

問2 - 4 この制度の導入により特色ある学校づくり、学校の活性化、開かれた学校づくりがすすんでいる。

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
1 すすんでいる	4	12.9	1	5.6
2 どちらかと言えばすすんでいる	17	54.8	11	61.1
3 どちらかと言えばすすんでいない	4	12.9	4	22.2
4 すすんでいない	4	12.9	2	11.1
5 無回答	2	6.5	0	0.0
合計	31	100.0	18	100.0



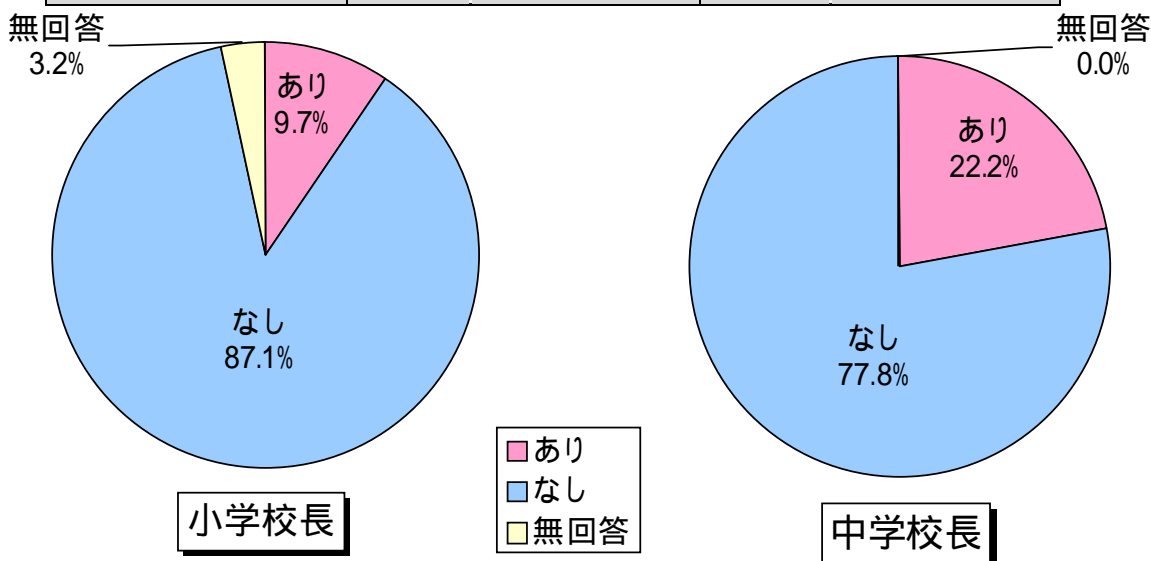
特色ある学校づくり、学校の活性化、開かれた学校づくりがすすんでいるかについて、小学校では「すすんでいる」(12.9%)、「どちらかと言えばすすんでいる」(54.8%)の67.7%、中学校では「すすんでいる」(5.6%)、「どちらかと言えばすすんでいる」(61.1%)の66.7%となっている。

# 学校選択制度に対する、保護者からの意見・要望等について

## 問3 この制度に対して、保護者から意見・要望等受けたことがありますか。

(単位：人、%)

	小学校長		中学校長	
	人数	比率	人数	比率
ア あり	3	9.7	4	22.2
イ なし	27	87.1	14	77.8
無回答	1	3.2	0	0.0
合計	31	100.0	18	100.0



学校選択制度に対して、保護者からの意見・要望を受けたかについて、「あり」が小学校では 9.7%、中学校では 22.2%となっている。

### 記述内容

#### 小学校 (3人)

- ・(学校を選択して入ったのだから)期待に応える学校経営を求められていることは、保護者の言動から強く感じている。
- ・動場がせまい中運動会を実施していますが、学校選択できている保護者のため、テントや駐車場等を準備してほしいとか、子どもに携帯を持たせてほしいとかの要望を聞くことがある。話して理解を得るようにしていますが、今まで聞かなかったことが出ているように思う。
- ・尾道の選択制度は周知されているように思う。その中で関心の高い方は積極的に学校訪問をされる。入学するまでかなりの交流や連携をすることが多くある。
- ・地域への位置づけで地区行事への参加等でどうすればよいかと地域から相談を受けたことはある。学校では各区のいずれかに所属しているが、地域行事等で任意かどうか等について相談を受けたことはある。混乱は生じていない。

#### 中学校 (4人)

- ・受け入れ人数枠の拡大。(抽選の回避)
- ・保護者から学校に対して感謝の言葉があった。「この学校があったからこそこの子は学校に行け、楽しかった、と言っているので、親としては大変うれしい」
- ・本校には陸上部がない。地元小学校6年生の保護者より新年度に陸上部をつくってもらいたい。陸上部ができないのなら、学校選択制度を利用して陸上部のある他中学への進学を考えている。そのような児童が3~4名いるので中学校としての対応を聞きたいとの申し入れがあった。
- ・年度途中や学年途中で転校はできないのか。

## 学校選択制度の今後のあり方について

### 問4 制度の今後の在り方について気づきがあればご記入ください。(複数回答有)

#### 小学校長

	人数
制度は続けるべきである	2
選ばれる特色ある学校づくりが大切である	2
留守家庭理由の選択児童の安全面の確保がはかられる	1
児童・学校・地域とのコミュニケーション、つながりが大切である	2
制度実施にあたり、条件面(施設、交通手段等)の整備が必要である	1
地理的条件による選択肢が限定される	1
登下校について保護者が責任をもって行うことを徹底してほしい	1
保護者の都合で選択するケースが多く、教育活動への協力を喚起する必要がある	1
制度のねらいが保護者に伝わっていない	1
選択の理由を明確にして、今後の制度あり方を考えていく必要がある	1
いつでも学区変更ができると思っている保護者がいるため、制度の周知を図ってほしい	1

#### 中学校長

	人数
制度は続けるべきである	1
選ばれる特色ある学校づくりが大切である	2
部活動等、特定の学校に集中することで、学校間格差が生じている	1
学校教育方針・年間行事等への賛同のうえ選択してほしい	1
不登校になった子どもにとっては必要な制度である	1
明確な目的を持って制度を利用してほしい	1
ケーブルテレビを視聴できない地区もあり、学校紹介方法を検討してほしい	1
国立、県立、私学が第一志望だが、いわゆる「すべりどめ」で制度利用する傾向にある	1
面接等により選択の理由を把握する必要がある	1
島嶼部から山間部までである市内を「同じ尺度」としての制度に無理がある	1
制度のあり方について検討する時期ではないか	1